

フィンランド放送交響楽団 長岡特別演奏会

指揮: ハンヌ・リントウ
ピアノ: 仲道郁代

— 伝統と革新 —
北歐屈指の名門楽団

ハンヌ・リントウ
(首席指揮者)
©Veikko Kähkönen

仲道郁代
(ピアノ)
©Kiyotaka Saito



2020年
5月30日(土)

開場/14:30 開演/15:00

長岡市立劇場・大ホール

全席指定 S席 ¥12,000 A席 ¥9,000

チケット一般発売: 1月25日(土)

リリック友の会優先予約: 1月21日(火) 10:00~18:00 ※電話予約のみ

長岡リリックホール(0258)29-7715 / 長岡市立劇場(0258)33-2211

【プレイガイド】長岡リリックホール、長岡市立劇場、文信堂書店(長岡駅ビルCoCoLo内)
※NIC新潟日報販売店でも取り次ぎます。

主催 / (公財)長岡市芸術文化振興財団

共催 / 新潟日报社、NST

特別協賛 / ユニオン ツール株式会社

後援 / YUUKIの会

フィンランド放送交響楽団
©Veikko Kähkönen

プログラム

シベリウス / 交響詩「エン・サガ」

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
変ホ長調 作品73

シベリウス / 交響曲第5番 変ホ長調 作品82

※曲目は変更になる場合があります。

お問い合わせ / (公財)長岡市芸術文化振興財団 事業課(長岡リリックホール内) TEL. (0258) 29-7715

【プロフィール】



©Veikko Kähkönen

ハンヌ・リントウ (首席指揮者)

Hannu Lintu, Chief Conductor

シベリウス音楽院でチェロとピアノを学び、後にヨルマ・パヌラに指揮を師事。シエナでジョン・ミョンフンのマスタークラスに参加し、1994年にノルディック指揮者コンクールで1位を獲得。19/20シーズンはリントウのフィンランド放送響の首席指揮者としての7シーズン目を迎える。ボストン響、デトロイト響、パリ管、オランダ放送響に再客演するほか、シカゴ響、モントリオール響、ウィーン・トーン・キュンストラ管などにデビューする。

近年はハンガリー国立フィル、ポルティモア響、セントルイス響、シンシナティ響、新日本フィル、NDR響などに客演している。また22年1月からはフィンランド国立オペラの音楽監督に就任する。これまでに同劇場で「トリスタンとイゾルデ」「クレルヴォ」「ヴォツェック」などを指揮し、成功を収めている。またサヴォンリンナ・オペラ・フェスティバルでも、サッリネンの「クレルヴォ」、ヴェルディの「オペラ」などを指揮している。

録音も多く、オンディーヌ、BIS、ナクソス、ハイペリオンなどからCDをリリースしている。



©Kiyotaka Saito

仲道郁代 (ピアノ)

Ikuyo Nakamichi, Piano

桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、増沢賞を受賞。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位メンデルスゾーン賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位と受賞を重ね、以後ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動を開始。これまでに国内の主要オーケストラと共演する他、マゼール指揮ピッツバーグ響、バイエルン放送響、フィルハーモニア管、ズッカーマン指揮イギリス室内管(ECO)、フリーベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送響、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルなど海外オーケストラとも多数共演。室内楽ではストルツマン、ハーゲン弦楽四重奏団、ブランディス弦楽四重奏団、ベルリン・フィル八重奏団等と日本ツアーを行い、いずれも好評を博す。CDはレコード・アカデミー賞受賞CDを含む「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集」や、「シューマン：ファンタジー」他、多数リリース。著書に『ピアノリストはおもしろい』（春秋社）等がある。

現在、ベートーヴェン没後200年にあたる2027年に向けて「仲道郁代 Road to 2027 プロジェクト」を展開しており、リサイタルシリーズを行っている。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。

オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>



©Veikko Kähkönen

フィンランド放送交響楽団

Finnish Radio Symphony Orchestra

1927年に創立。フィンランド放送響 (FRSO) はフィンランド国営放送 (Yle) のオーケストラである。これまでの首席指揮者には、パーヴォ・ベルグルント、オッコ・カム、レイフ・セーゲルスタム、ユッカ=ペッカ・サラステ、サカリ・オラモらがいる。2013年からハンヌ・リントウが同職を務め、21年からはニコラス・コロンが引き継ぐ。

2019/20シーズンはYleの委嘱による4つの作品を世界初演するほか、シューマンの壮大な「ゲーテのファウストからの情景」、ショスタコーヴィチの交響曲、協奏曲などが呼び物となっている。指揮者にはサロネン、プロムシュテット、サラステ、オラモ等、世界の名高いマエストロが招待されている。

FRSOは定期的にツアーを行い世界のすべての地域で演奏している。2019/20シーズンのハイライトは、首席指揮者ハンヌ・リントウと中欧ツアーと日本ツアーである。

CD録音も多く、BBCミュージック・マガジン賞、アカデミー・シャルル・クロ賞などの主要な賞を獲得している。

■お知らせ

- ・長岡リリックホール及び長岡市立劇場では、チケットの窓口販売のほか、郵送(有料)によるチケット販売も承ります。
- ・6ヶ月以上から小学校入学前のお子様を対象とした託児室(無料)を設置します。5月23日(土)までに(公財)長岡市芸術文化振興財団事業課へお申し込みください。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ・公演終了後、長岡駅直通の有料臨時バスが出ますのでご利用ください。

■以下のことをご了承のうえ、チケットをお買い求めください。

- ・小学校入学前のお子様はご入場いただけません。小学生以上の方はチケットが必要です。
- ・ご予約・ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
- ・車椅子席をご希望の方は、長岡リリックホールでお求めください。
- ・プログラムは変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■交通のご案内

●バス：JR長岡駅大手口

- ・10番線から「宮内環状線 内回り」〈市立劇場〉バス停下車
- ・10番線から「宮内本町線」〈市立劇場〉バス停下車

●自家用車：長岡インターチェンジ

関越・北陸自動車道から車で約20分。



舞 台

